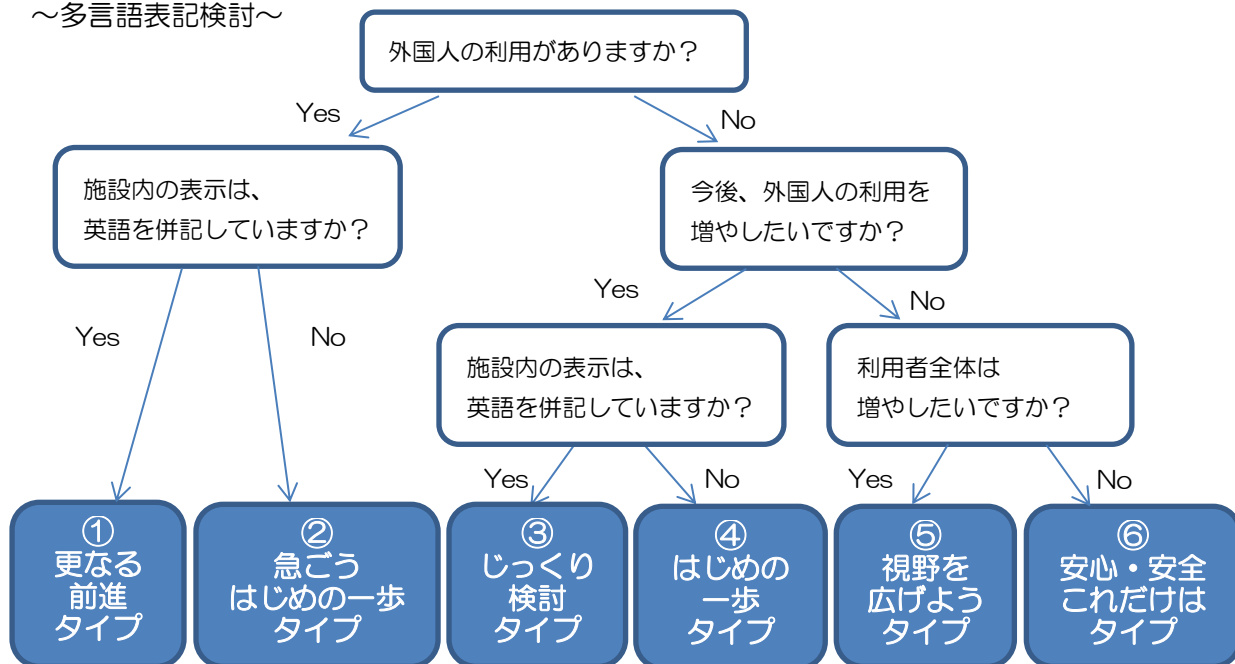


フローチャートⅠ

～多言語表記検討～



① 多言語表記の基本的な対応ができています。
英語以外に併記が必要な言語を検討しましょう。
現状の外国人利用者の国籍などを考慮して、フローチャートⅡを参考に言語を選択しましょう。

② 多言語表記の対応を急ぐ必要があります。
まずは英語を併記するとともに、現状の外国人利用者の国籍などを考慮して、
それ以外の言語についても、フローチャートⅡを参考に検討しましょう。

③ 多言語表記の基本的な対応ができています。
今後、多く外国人に利用してもらうため、英語以外に併記が必要な言語を検討しましょう。
今後増やしていきたいと考える外国人の国籍などを考慮して、
フローチャートⅡを参考に言語を選択しましょう。

④ 多言語表記の対応へ一歩踏み出しましょう。
まずは英語を併記しましょう。そして、今後増やしていきたいと考える外国人の国籍などを考え、
英語以外の言語についても、フローチャートⅡを参考に検討しましょう。

⑤ 現状で多言語表記の必要性を感じていないようです。
利用者を増やすため、施設内の表示を見直し、まずは英語から併記するなど、
外国人を視野に入れた対応を検討しましょう。

⑥ 現状で多言語表記の必要性は低いようです。
急な外国人の利用に備え、「禁止・注意を促すタイプ」の情報は、英語を併記しましょう。